

# フランスでの留学記録～パリ商業高等大学～

金子 将秀

私はパリ商業高等大学に前・後期(sep. 2012～avr. 2013)に在学していました。この留学を通して得た経験(勉強・生活・フランス人の性格 etc…)をご報告したいと思います。

## 勉強:大学での経験

ヨーロッパには「エラスムス」という交換留学制度が存在していて、フランスのみならず欧州内のほとんどの学校には日本と比べて様々な国籍の学生が集まっています。私が在籍した学校では仏語・英語の授業が40%・60%という割合で開かれていてほとんどの留学生は英語、フランスでインターンシップを考えている留学生は仏語の授業を取るというような印象でした。(私は後者の方です)

日本と比べて、授業は非常に興味深く忙しいものでした。ほぼ全ての授業にグループワークが設置されていて、しばしばプレゼンテーション(英語・仏語)を行いました。協力して授業を進めるので責任感も伴いますし準備をきちんとしなければいけないので、時間調整・優先順位の選択など実社会に通じる経験が得られたと思います。

海外の学生は日本と比べてどうか: フランス人・留学生問わず、ほとんどの学生がどの授業にもパソコンを持ってきてワードでノートを取るという形でした。なぜかという授業にレジュメなどはありませんし、先生はパワーポイントで説明しますがすぐにスライドを変えてしまうので書く時間がないからです。この海外学生の態度には衝撃を受けましたし、尊敬もしました。でももちろん隠れてパソコンでゲームをしたり、フェイスブックのチェックをしている生徒もいました。どの国も一緒です。(笑)

## 生活:留学生としての生活

フランスはヨーロッパの中でも物価が高い国です。しかし日本と比べると…日本の物価の高さに気づかされます。(笑)

例えば…私の家の家賃(水道光熱費込):550€、携帯(電話・ネットし放題)の月額:20€、月60€の交通カードを買えばパリ内はどこでも移動し放題、ワイン:大体3~5€、ビール(500ml):1€、フランスパン(250g):0.9€, etc…  
一人暮らしをする上で必要なものは本当に安いです。そして何よりヨーロッパということもあるので、バスや電車で国内・隣国への旅行などもできます。例えば80€でドイツに電車で行ったりしました、懐かしい…

留学生たちとお酒を買い込んで、記憶が無くなるまでパーティー等もしばしばやりました。(笑) ただパーティーのおかげで語学力も向上したと思います。こういった経験を通じて感じたのが、海外の人たちは仕事と自分の時間をちゃんと分けます。これは日本と大きく違うと思います、休みの時は仕事を考えたりはしませんが、仕事の時間になると常に集中を切らさないという印象です。

## フランス人とは…

皆さんはフランス人に対してどの様な印象をお持ちですか? 「英語がわかるのに英語を話さない」とよく言われていますが、若者や観光地などを除いて実際彼らはあまり英語が話せません。(笑) 言語学的にも違う言語というのがありますが、何より英語を使う機会があまりないというのが大きいと思います。なのでフランス人に対して悪い印象を持たないでください。(笑)

フランス人はあまり人前で大声で話したりすることを避けますが、話し合うことが大好きです。一つの話題で一夜語り明かすことなどもたまにありました。なぜなら彼らは一つの物事に対して真剣に向き合い、答えを探そうとするからです。フランスでは哲学教育が高校の時に力が注がれている(日本にて小川 G. F 先生から教わりました)ため、何事にも深く考えます。悪く言えば面倒くさい、良く言えばとても真面目な人種だと思います。

<留学中の様子>

金子将英さん（パリ商業高等大学留学：2012年9月～2013年8月）



高津戸涼さん（パリ商業高等大学留学：2013年9月～2014年）



小川 GF ゼミ

